

2009 Annual General Meeting

Japan Branch of the Dickens Fellowship

ディケンズ・フェロウシップ日本支部

2009年 秋季総会



17 October 2009 at Tokyo Woman's Christian University

2009年10月17日 13時20分～

会場 東京女子大学

プログラム Programme

日時：2009年10月17日（土）13:20より October 17, 2009 1: 20 p.m.

場所：東京女子大学 at Tokyo Woman's Christian University

〒167-8585 東京都杉並区善福寺 2-6-1 2-6-1 Zenpukuji, Suginami-ku, Tokyo



理事会 Board of trustees meeting (12: 00 ~ 12: 30) 24号館2階 24201教室

2009年度総会 2009 Annual General Meeting (13: 20 ~ 14: 10) 24号館3階 24301教室

議 題

- 1 2008年度決算・2009年度予算
- 2 デイケンズ博物館生誕200年記念事業 Great Expectations 寄付について
- 3 2010年度春季大会開催校について
- 4 大会と総会の一本化について（昨年度からの継続審議事項）

研究発表 Short paper session (14: 30 ~ 15: 50) 24号館3階 24301教室

司 会：松村豊子（江戸川大学教授）

- 1 吉田一穂（甲南大学非常勤講師） 「デイケンズによる奴隷制度批判と南北戦争前後のアメリカ」
- 2 川崎明子（駒澤大学専任講師） 「Great Expectations と『坑夫』の一人称の語り
——非教養小説における視点と主人公——」

特別講演 Special lecture (16: 10 ~ 17: 20)

司 会：原 英一（東京女子大学教授）

南山大学名誉教授 荻野 昌利

「デイケンズの小説空間——Little Dorrit を中心にして」

懇 親 会 Party (18:00 ~)

会 場：吉祥寺第一ホテル

会 費：7,000円

研究発表・特別講演・懇親会には会員以外の方でも自由に参加できます。

研究発表

ディケンズによる奴隷制度批判と南北戦争前後のアメリカ

甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

1842年1月4日、29歳のチャールズ・ディケンズは、蒸気船ブリタニア号でリバプールを発った。1月22日にアメリカのボストンに上陸したディケンズは、大歓迎を受けた。このときすでにディケンズは、*The Pickwick Papers* (1837)、*Oliver Twist* (1837-39)、*Nicholas Nickleby* (1839)、*The Old Curiosity Shop* (1841)、*Barnaby Rudge* (1841)などの作品を発表していて、イギリスだけでなくアメリカにおいても人気作家となっていた。ボストンで大変な歓迎を受けたディケンズであったが、アメリカを訪問する間、彼の目は未発達な社会の含む矛盾に鋭くそそがれていた。自由・平等・幸福を標榜するアメリカの矛盾の一つとしてディケンズは *American Notes* (1842) の中で奴隷制度を取り上げている。

本発表では、ディケンズを取り上げた奴隷制度を南北戦争前後のアメリカを視野に入れて考えてみたい。

Great Expectations と『坑夫』の一人称の語り

——非教養小説における視点と主人公——

駒澤大学専任講師 川崎 明子

本発表では、*Great Expectations* のピップと漱石の『坑夫』の主人公を、主人公の視点と主人公としてのアイデンティティという点において比較し、ピップの一人称の語りの個性を明らかにしたい。主に冒頭のピップの外界を認識する過程と、『坑夫』の主人公が初めて坑道に入る様子を取り上げ、前者が英語小説としてどのように典型的かつ独特であるか、後者がいかに日本語的で西田幾多郎の「場所の論理」の好例となっているかを見ていく。

特別講演

ディケンズの小説空間

——*Little Dorrit* を中心にして——

南山大学名誉教授 荻野 昌利

荻野昌利氏

日本ヴィクトリア朝文化研究会会長、南山大学名誉教授、文学博士（名古屋大学）。

1933年生。56年東京教育大学文学部卒業。60年同大学大学院文学研究科修士課程修了。99年名古屋大学から博士（文学）の学位を授与される。62年南山大学助手、76年教授に就任、2002年定年退職。

『暗黒への旅立ち——西洋近代自我とその図像 1750 - 1920』（名古屋大学出版会、1987）、『さまよえる旅人たち——英米文学に見る近代自我彷徨の軌跡』（研究社、1996）、『歴史をく読む>歴史をく読む>——ヴィクトリア朝の思想と文化』（英宝社、2005）等、著書多数。

今回のご講演は、先生の最新刊『小説空間を「読む」——ジョージ・エリオットとヘンリー・ジェームズ』（英宝社、2009）の「続編、姉妹編」となるものとのことです。

懇親会のご案内

場所 吉祥寺第一ホテル
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町 2-4-14
TEL 0422-21-4411 FAX 0422-21-8269
(吉祥寺駅より徒歩5分)

会費 7,000円

※会員の方はご出欠について、同封葉書により、
10月12日までに回答ください。



